

第8回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和2年8月21日	会場	第1委員会室	案件	委員会所管事項について
出席委員	山田典幸、佐久間誠、塩田昌彦、今村芳彦、三浦勝秀、富岡達彦				
委員外議員	川村幸栄				
欠席委員					

【報告事項】

(経済部)

1) 有害鳥獣対策事業の実施状況について

令和2年7月末日現在の有害鳥獣対策の実施状況についての報告がされた。

エゾシカは令和元年度7月末日駆除数で272頭だったが、令和2年度は個体数の増加に伴い同月比427頭、アライグマは令和元年度65頭だったが、令和2年度は284頭といずれも前年度捕獲総数を上回っている。

ヒグマについては、8月20日現在で令和元年度出没件数47件、捕獲頭数5頭に対し、令和2年度は出没件数31件と16件前年度を下回ったものの、捕獲頭数は6頭と1頭増となっている。

【質疑】

Q：外部から入ってくるハンターのマナーの悪さが指摘されている。

A：地元の猟友会に相談してみたい。

Q：アライグマ罠の貸し出しは対応できるのか。

A：79機保有。全て出払っており、捕獲実績のないところは返却をお願いしている。

2) 「人・農地プラン」見直しの取組状況について

人・農地プランについて平成29年作成したが、3年経過したことから本年見直しに向けてアンケート調査を行い、中間集約をした内容について報告があった。

今後(5年以内)の経営意向

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| ①規模拡大 120戸 | ②現状維持 196戸 | ③規模縮小 32戸 |
| ④離農意向 48戸 | ⑤回答無し 26戸 | |

農地の受け手と出し手の関係では、規模拡大意向者の希望増加面積1,248haが、出し手の面積898haを上回る状況にあるが、集落別にみると12地区で出し手が上回っているため、地区を超えた農地流動化も必要になってくる状況にある。

後継者の状況

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| ①現在既に就農している 62戸 | ②将来就農の意思を確認している 11戸 |
| ③候補者はいるが就農は未定 17戸 | ④現在他業種に就職している 29戸 |
| ⑤後継者はいない 183戸(うち、第三者経営継承希望19戸) | |
| ⑥回答無し 120戸 | |

今後のスケジュールとして、調査結果の資料化と地域協議の開催(R2.11~R3.1)、関係機関・団体による「人・農地プラン検討会」の開催と、協議結果を踏まえプランの見直しを実施する(R3.3)こと等について、報告された。

【質疑】

Q：規模拡大意向が多いが通い作解消も課題としてある。地区を超えた農地の流動化は作っているものも違い難しいのではないか。今後の流動化の考え方は。

A：近隣を幅広く見る。農業委員会にも共有してもらい、地域の状況を見ながら、できるだけスムーズに流動化されるよう側面から支える。

3) 新型コロナウイルス感染症に関する経済対策について

「補助金支援メニュー拡充・緩和に関する事業者説明会」を8月24日(月)15時から駅前交流プラザ「よろーな」大会議室で行う。対象は申請予定事業者及び市内施工業者とする。

「なよろ地域商品券」追加販売

前回未購入者を対象とし、30,000セットの名寄地域商品券(25%プレミアム)を追加販売する。1セット@500円×10枚を4,000円で販売。前回未購入者1人10セットまで。

整理券 8月30日～9月4日まで先行配布。(場所:名寄商工会議所、風連商工会)
氏名、住所、電話番号、購入セットを記入。身分証明書(運転免許証、健康保険証、郵便物など)、筆記用具持参で受付。受付印を押した整理券を交換日に提出して購入。

交換日 令和2年9月7日～10月30日 9時～17時
※9月8日・10日・15日・17日は9時～19時 土日祝は休業。

有効期限 令和3年1月15日 取扱店にはステッカー掲示

【質疑】

Q:「名寄市民へ先行配布」とあるが市外も対象なのか。

A:市内事業所の経済対策であり、市民限定とする必要はないと考えている。

4) 名寄市一般会計補正予算(第7号)(案)について

産業振興課から令和2年第3回定例会提出予定の補正予算(案)について説明を受けた。

事業名	説明	補正額
観光振興一般行政経費	レンタルサイクル購入費	359千円
望湖台自然公園管理運営事業費	忠烈布湖畔美化協力会謝礼	49千円
	ふうれん望湖台自然公園水廻り点検手数料	43千円
	ふうれん望湖台自然公園トイレ改修工事	2,000千円
ピヤシリスキー場整備事業費	圧雪車整備料	3,319千円
なよろ温泉整備事業費	なよろ温泉サンピラー喫煙室設置工事	1,004千円
	レストセンター灯油タンク新設工事	820千円
	なよろ温泉サンピラー更衣室設置工事	264千円
	なよろ温泉サンピラー源水汲上ポンプ改修工事	550千円
	壁掛型防災アンプ購入費	605千円

以上の説明を受け各委員から確認する点について質疑を行った。

5) その他

【質疑】

Q:GoToトラベルでの市内の宿泊施設登録は進んでいるのか。

A:名寄市内で5件ほど専用ホームページから確認している。

(建設水道部)

木村建設水道部長から建設水道部の7月末現在の業務＋工事の発注率について、総合計数91本中、発注71本、完工9本で発注率78%、完工率10%で予定通り推移しているとの報告を受けた。

1) 名寄市手数料徴収条例の一部を改正する条例について

省エネ基準に適合した住宅や建築物の普及を促進するため、平成27年度に「建築物消エネ法」が創設され、令和元年5月17日に従来認定制度を拡充し、申請者の書類作成と省エネ性能の評価が容易に行えるなどの改正がなされたことから、新たな評価方法を適用した手数料を定めるもの。本市の既存の認定手数料は、北海道の算定方法を基に額の変更をすること等の説明がされた。

2) 名寄市一般会計補正予算(第7号)(案)について

都市整備課から、①除排雪業務に係る補正として労務費(北海道単価)や機械損料の増額に伴い補正するもの。②北海道が使用していた除雪機械の払下げにより除雪ロータリー車を購入しようとするもの。

説明	予算現額	補正額	補正後予算額
市道除雪業務委託料			
市道排雪業務委託料	504,196千円	24,673千円	528,869千円
積込運搬排雪業務委託料			
除雪機械購入費	0千円	2,300千円	2,300千円

3) 名寄市下水道事業会計補正予算(第1号)(案)について

上下水道室から「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業」として下水処理場のトイレの換気設備、手洗器や便器の改修及び清掃用流しの設置により衛生的な空間の向上を図り、職員及び来客者の感染機会の削減をはかるために補正しようとするものとして説明があった。

説明	事業内容	補正額
名寄下水終末処理場感染症対策工事	換気設備改修一式 手洗い器改修一式 大便器改修一式 清掃用流し設置一式	3,500千円

以上、各項目についての説明を受け、各委員から確認する点について質疑を行い午前中の委員会を終了した。

午後からは農務課、都市整備課による案内で市内の「経済建設常任委員会現地調査」が行われた。

①農作物生育状況説明 第一委員会室 農業振興センター 六郎田主査(座学)

水稻密苗栽培試験状況、気象経過図(名寄アメダス)による解説、名寄主要作物の生育状況など。

②ブドウ栽培、ワイナリー視察 弥生地区(株)森臥(現地視察)

竹部代表取締役による概況説明。ワイナリー施設とブドウ畑視察。

③豊栄西12条仲通り道路改良舗装事業

舗装工事現場視察。

- ④哺育・育成センター整備事業 中名寄地区
建設現場視察。

以上で、第8回経済建設常任委員会を終了した。